



吉田小中学校は、
コミュニティ・スクール

第24号 発行者：吉田小中学校コミュニティ・スクール
(令和4年7月27日)



会長あいさつ 吉田小中学校コミュニティ・スクール会長 森脇 一弘

小学生・中学生として今を生きる子ども達の将来は、どのようなものになっているのでしょうか。驚くことに、予測では20年後30年後には今のほとんどの仕事はAIに置き換わり、環境面でも深刻な水不足・食糧不足・大規模な自然災害なども深刻な問題となっていくとされています。そして、これらのことは人類が初めて経験することばかりです。そして、困ったことに我々は、これから待ち受けている状況を正確に予測していないし、また、その課題に答えを持ち得ていないのです。つまり、我々大人には、子ども達に待ち受けている問題や困難に答えと解決法を与えてあげることに限界があり、子ども達自身が、将来その多くの問題に向かい合い答えを出し続けていくしかないということです。

以上のことを踏まえて、平成29年・30年度ごろより国の施策により「主体的・対話的・深い学び」という視点で幼児教育や学校教育が新たな方向性に向かっていきます。これからの子ども達は社会の加速度的な変化の中でも自立した人間として、答えが用意されていない課題や困難に対して、膨大な情報から主体的に判断し、解決していく力を養っていく、そんな教育や学びが始まっているのです。

最後になりますが、もちろん時代や世の中が変わっても変わってはいけないこともあります。今、我々大人は、子ども達が「自分の人生を自分が生きている」という実感をもって自分の意志や判断に基づき、責任を持って生きることができるよう応援していくことができるかどうかが問われています。そのことを踏まえて、今年度も学校運営協議会においても、吉田小中の子ども達を見守る地域の一員として微力ではありますが、子ども達と学校の主体的な学びを支え応援することができればと感じています。

令和4年度 吉田小中学校コミュニティ・スクール委員



副会長 副島 謙一
(寮元協同組合)



井上 親司
(吉田コミュニティ事務局)



小野 求
(活き生き吉田会会長)



中島 妙子
(「グリーン会」代表)



馬場 孝宏
(元吉田小中学校PTA会長)



宮崎 裕子
(読み語りボランティア代表)



山口 新太郎
(吉田小中学校PTA会長)



坂元 雄一郎
(吉田小中学校PTA副会長)

- 植松 かおり (吉田小校長)
- 桑原 智仁 (吉田中校長)
- 木原 純一郎 (吉田小教頭)
- 藤家 孝太郎 (吉田中教頭)
- 川島 勝秋 (吉田小指導教諭)
- 中野 雅和 (吉田中教務主任)
- 溝上 圭太 (吉田小主事)
- 諸富 淳一朗 (吉田中事務主任)

★第1回学校運営協議会を開催しました

第1回学校運営協議会が6月3日に開催されました。冒頭、杉崎教育長から「地域の力を借りて子供たちを健やかに育てていきたい。」との挨拶がありました。今回の会議では、今年度の学校運営方針や学校評価計画について各校の校長から説明するとともに小学校・中学校の部会ごとに分かれ意見交換等が行われました。



小学校部会では、コロナ禍の中で子供たちの体力低下が心配との意見や with コロナになっていく中での行事の在り方を検討していく必要があるのではないか等の意見が出されました。また、中学校部会では、学校から地域と連携したボランティア活動も成果指標にしているのでコロナの状況を見つつ、地域行事にも積極的に関わりたいとお伝えしました。その他にも、全校スピーチの取り組みについて、生徒達の自信を高めるためには良い取組だとの意見をいただきました。

★吉田小中クリーン大作戦

6月1日に吉田小中合同で学校周辺のごみ拾い活動を行いました。当日は天候にも恵まれ、多くのごみを拾うことができました。この活動を通して自分たちの住む地域の環境を守ることの大切さを学ぶ良い機会となりました。



★吉田小修学旅行

5月24日から25日にかけて吉田小の子どもたちが修学旅行へ行ってきました。1・2年生は嬉野市と鹿島市、3・4年生は佐賀市と小城市、5年生は福岡市と佐賀市を訪れ、それぞれ施設見学等を行いました。また、6年生は2日間長崎市を訪れ、平和の大切さを学ぶ良い機会となりました。

★全校スピーチ「私の好きな吉田」

吉田中では、年間（全8回）を通じて全校スピーチに取り組んでいます。全校生徒の前で、テーマに沿ったスピーチを全生徒が行います。5月31日に第1回が行われ、「私の好きな吉田」というテーマで6人の生徒が、それぞれに「吉田のよさ」を述べていました。「自然がいっぱいで、四季を感じることができる」、「地域の方がとても優しく、下校時には『おかえり』と言ってもらえる」など、生徒が感じている「吉田のよさ」を聞きながら、豊かな自然の中で心豊かに成長し、地域の方に見守られながら安心して生活できていることを改めて感じました。



★学校訪問2024「電動車椅子サッカー＆ボッチャ体験」

6月17日（金）に、SAGA2024 企画広報チーム、佐賀県障がい者スポーツ協会、嬉野市 SAGA2024 推進課の皆様が、吉田中を訪問されました。2024年に佐賀県で開催される、「国スポ」と「全障スポ」のPR活動の一環で、県内の学校等を訪問されています。嬉野市では7競技が開催され、生徒はその中の「電動車椅子」と「ボッチャ」を体験しました。「する」「観る」「支える」という全ての立場で大会に参加できる大会を目指したSAGA2024です。体験後、「ぜひ見に行きたい」などの感想を寄せていました。